

各 位

会社名 MediciNova, Inc
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 岩城 裕一
(コード番号: 4875 東証スタンダード)
問合せ先 東京事務所代表 副社長 松田 和子
兼最高医学責任者 (CMO)
電話: 03-3519-5010
E-Mail: infojapan@medicinova.com

順天堂大学大学院医学研究科との MN-001 (タイペルカスト) に関する 共同研究開始に関するお知らせ

2022年6月22日 米国 ラ・ホイヤ発 - メディシノバ (MediciNova, Inc.) (米国カリフォルニア州 ラ・ホイヤ、代表取締役社長兼 CEO: 岩城裕一) (以下「当社」といいます。) は、この度、学校法人順天堂 順天堂大学大学院医学研究科 (東京都文京区本郷 2 丁目 1 番 1 号: 大学院医学研究科長 服部信孝) (以下「順天堂大学」といいます。) と共同研究契約書を締結し、当社が開発を進めている MN-001 (タイペルカスト) ^{*1} の脂質代謝に関する作用機序の詳細やメタボリックシンドローム等の疾患に及ぼす作用について、共同研究を開始することとなりましたので、お知らせいたします。

なお、本共同研究は、順天堂大学大学院医学研究科 臨床病態検査医学講座の三井田孝主任教授の研究室で行われます。

当社取締役兼 CMO (最高医学責任者) の松田和子は次のようにコメントしています。

「MN-001 は複数のメカニズムを持つ化合物で、これまでの研究において線維化抑制効果や炎症抑制効果を持つことが知られています。また、過去に実施された複数の臨床治験において血清中性脂肪値の高い治験参加者の血清中性脂肪値を低下させることが観察されていました。高血清中性脂肪症を伴う NASH (非アルコール性脂肪性肝炎) /NAFLD (非アルコール性脂肪性肝疾患) 患者を対象とするフェーズ 2 臨床治験において、血清中性脂肪値を有意に低下させることが確認されたほか、HDL (善玉コレステロール) あるいは LDL (悪玉コレステロール) の血清脂質プロファイルも改善していることが確認されました。さらに、これらの脂質プロファイルの改善は糖尿病を併発している患者さんで特に顕著に認められました。

脂質代謝研究分野の第一人者である順天堂大学の三井田教授との共同研究を通じて MN-001 の作用機序の詳細や、治療により恩恵を受ける病態の特定などに繋がる新しい知見が得られることを期待しています。」

本件が当社の 2022 年 12 月期の業績に与える影響は軽微であります、今後公表すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以 上

*1 MN-001 (タイペルカスト) について

MN-001（タイペルカスト）は、経口投与の新規化合物で、いくつかのメカニズムによって線維化を抑える効果や炎症を抑える効果が期待されています。MN-001には、ロイコトリエン受容体拮抗作用、フォスフォジエステラーゼ（主にⅢ及びⅣ）、5-リポキシゲナーゼの阻害などが認められております。近年では、5-リポキシゲナーゼ（5-LO）経路を介したロイコトリエン合成阻害による炎症の軽減及び、線維化の予防の可能性が知られております。また、MN-001は、遺伝子レベルではLOXL2、Collagen Type1 TIMP-1などの線維化を促進させる遺伝子や、CCR2、MCP-1などの炎症を促進させる遺伝子発現を抑制することが知られています。また各種、線維化疾患動物モデルにおいて、病理組織検査において線維化を改善することが確認されました。FDAは肝線維化を認めるNASH治療適応に対してMN-001をファストトラックに指定しました。また、特発性肺線維症治療を適応として、MN-001をファストトラック指定し、さらにオーファンドラッグに指定しております。過去に当社は、MN-001を気管支喘息治療薬としてその臨床開発を進めてきた経緯があります。喘息治療薬適応のフェーズ2臨床治験では、良好な結果が得られておりました。MN-001は、現在まで600名以上の方に投与されており、総じて安全性と良好な認容性が確立されております。

メディシノバについて

メディシノバ（MediciNova, Inc.）は、臨床開発ステージにあるバイオ医薬品開発企業であり、炎症性疾患、線維化疾患、神経変性疾患などの様々な疾患領域において、新規低分子化合物の広範な後期パイプラインを開発しています。主要な開発品である2つの化合物、MN-166（イブジラスト）とMN-001（タイペルカスト）は、複数の作用機序と高い安全性プロファイルを有しており、当社は、これら2つの化合物について現在11の臨床開発プログラムを有しております。

当社の主力開発品であるMN-166（イブジラスト）は、現在、筋萎縮性側索硬化症（ALS）及び変性性頸椎椎椎症（DCM）で臨床第Ⅲ相（フェーズ3）段階、進行性の多発性硬化症（MS）において臨床第Ⅲ相（フェーズ3）準備段階にあります。加えて、MN-166（イブジラスト）は、膠芽腫（グリオブラストーマ）、急性呼吸窮迫症候群（ARDS）及び薬物依存症の治療薬として臨床第Ⅱ相（フェーズ2）段階にあります。

MN-001（タイペルカスト）は、非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）について、臨床第Ⅱ相（フェーズ2）の準備段階にあります。

当社は、公的機関からの資金助成を受け、多くの医師主導型臨床治験を実施してきた強固な実績を有しています。

当社詳細につきましては<https://medicinova.jp/>をご覧ください。本社所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州ラ・ホイヤ、スイート300、エグゼクティブ・スクエア4275（電話1-858-373-1500）です。